

公益社団法人日本天文学会 代議員総会議事録

日 時：2015年1月25日（日） 13:00-17:00

場 所：東京大学理学部1号館中央棟3階336号室

出席代議員：縣、市川、井上、岡村、奥村、河合、櫻井、柴田、杉山、田村、半田、馬場、福井、望月、松下、中川、吉川、山田、百瀬、渡部（以上20名、委任状14名）

欠席代議員：犬塚、梅村、太田、海部、観山、嶺重、小久保、常田、寺澤、吉田（道利）、吉田（直紀）、佐藤、常田、牧島、林、土居（以上16名）

また、北本研究奨励賞選考委員長、綾仁天体発見賞選考委員長、中村・本原庶務理事、熊谷・松尾会計理事、西野事務長、黒岩職員が出席した。櫻井会長と奥村・山田副会長は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

議事に先立ち、出席者が20名、議長委任状が14件、合計34件で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：櫻井 隆

署名人：櫻井 隆

II. 報告

II-1 理事会（2014年12月7日）報告（中村）

2015年度事業計画書と予算書が承認されたことが報告された。2017年秋季年会、2018年春季年会の開催地立候補の募集がある。広く立候補を呼び掛けてほしい。Tennet、月報、学会ホームページにてアナウンス予定。4月に締め切りを設定する予定。

II-2 学術会議関連報告（資料3、山田）

第23期日本学術会議委員会天文学・宇宙物理学分科会の委員長が観山、副委員長が須藤、幹事が山崎、山田と決まった。大学教育の質保障、中規模計画の継続評価、フォローアップなどについて引き継ぎ、議論する。前回の中規模計画の推薦で、分野横断的な計画は推薦団体を決めることが困難で今のような方法では不利であるので、そのような分野横断的な計画も拾い上げられるような制度に改善してもらいたい。

II-3 IAU 報告（資料4、岡村）

第23期日本学術会議物理学委員会天文学宇宙物理学分科会1回で選出された本分科会の委員長、副委員長、幹事が紹介され、その後オブザー

バーを承認し、紹介した。ホノルルの IAU 総会に向け、新会員の推薦について可否を議論した。日本は会員数第 3 位を誇っているのにも関わらず、Division 運営組織への日本人参加者が少ない。日本人が IAU 活動に積極的に参加するよう、IAU 分科会岡村委員長より引き続きお願いがあった。長年、働きかけても日本人が少ないという状況が改善しないので、別の方法での働きかけも必要ではないかという意見があった。Division の委員長などは各分野から積極的に推薦してもらってもよいかもしれない。日本人からの IAU シンポジウムの提案数も少ない。IAU シンポジウムの申請手続きが煩雑で時間もかかることが一つの理由かもしれないが、日本のプレゼンスを上げるため、積極的に IAU シンポジウムを開催する必要がある。

III. 議題

III-1 公益社団法人日本天文学会 2015 年度事業計画書(案)の承認 (資料 4、中村)

2015 年度事業計画書の説明の後、会一致で承認された。概ね例年と同じ事業内容である。2015 年は代議員選挙が行われる。キャリア支援事業の「若手研究者」に非アカデミックを志す大学院生も含まれるということを確認した。

III-2 公益社団法人日本天文学会 2015 年度予算書案の承認 (資料 5、熊谷)

2015 年度予算の説明後、全会一致で承認された。2014 年度と比較して正会員(学生)数の増加が見込まれるが、学生年会費の値下げにより会費収入は減少し、また年会の登録料や予稿集頒布による収入も減少する見込みである。寄附金で運営する研究奨励賞および内地留学奨学金は、資金が減っており、月報などで寄附の募集をアナウンスしたい。

III-3 次期会長・副会長、次期委員会委員の承認 (資料 6、中村)

理事候補リストについて説明され、全会一致で承認された。また理事会で承認された委員会委員メンバーも報告された。

III-4 2014 年度各賞受賞者の決定

- 林忠四郎賞 (資料 7、岡村)

林忠四郎賞、欧文研究報告論文賞選考委員長である岡村代議員より、選考経過、及び最終候補者に小松英一郎氏を推薦する理由が説明された後、同氏に授賞することが全会一致で承認された。なお、今回の選考は以下のように行ったことが説明された。推薦 3 件(非推薦者 3 名)と昨年度の非推薦者 1 名(1 件)も含め、4 名を候補とし、各人についてその研究分野をよく知る委員が推薦理由に基づいて研究内容を説明し、委員全員が研究業績に関して理解を深め、審議した。また内規の修正についての案の説明があった。受賞者が少数の研究グループというのは概ね 3 名以内。

- 欧文研究報告論文賞 (資料 7、岡村)

同じく選考委員長の岡村代議員より選考経過、及び Honma et al. (2012)、Bautz et al. (2012) の 2 篇を推薦する理由が説明され、推薦通りに授賞することが全会一致で承認された。今回推薦が 3 件と少なかった。優れた論文は複数回推薦していただくことを推奨しますとアナウンスしたが、今回は効果が見られなかった。推薦論文の数を増やす努力を続けるべきであるとの観点から可能な方策の議論を行った。また林忠四郎賞、欧文研究報告賞の内規の改訂について提案があり、理事会にて協議することになった。受賞資格である「過去 5 年以内」という定義が曖昧なので、「当該年度当初より前 5 年以内」と修正する案を検討している。

- 研究奨励賞（資料 8、北本）

北本研究奨励賞選考委員長より、選考経過、及び最終候補者に井上剛志、田中孝明、村瀬孔大の 3 氏を推薦する理由が説明され、推薦通り授賞することが全会一致で承認された。受賞理由の文章について、より適切な内容に修正するように意見が出され、研究奨励賞選考委員で改訂案を作成することになった。

- 天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞（資料 9、綾仁）

綾仁天体発見賞選考委員長より、天体発見賞 3 名/1 グループ 14 件、及び天体発見功労賞 1 名 1 件、天文功労賞（長期部門）1 名 1 件、天文功労賞（短期部門）3 名 3 件の推薦理由が説明され、推薦通り授賞することが全会一致で承認された。

[資料リスト]

- 資料 1 代議員総会出欠表
- 資料 2 前回(2014 年 9 月 12 日)代議員総会議事録確認
- 資料 3 前回(2014 年 12 月 24 日)代議員総会議事録確認
- 資料 4 IAU 報告
- 資料 5 2015 年度事業計画書（案）
- 資料 6 2015 年度予算書（案）
- 資料 7 2014 年度林忠四郎賞および欧文研究報告論文賞選考報告書
- 資料 8 2014 年度日本天文学会研究奨励賞候補推薦理由書
- 資料 9 2014 年 1 月～12 月期の天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞候補者の推薦

2015 年 1 月 25 日

議長・署名人：櫻井 隆

印